

1 (7) 地域で社会で自立する障害者

現状と課題	担い手・役割 (資金)	施策 (事業・活動)	目標
<ul style="list-style-type: none"> ○障害者の雇用問題(要調査) ○障害者が年々増加 ○障害者の高齢化が進む <p>(障害者にとり4つのカベ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 制度的なカベの克服 資格がとれない 受験の機会が与えられない 2. 物理的なカベの克服 建物、交通機関、生活用具 など使いやすい、暮らしやすい生活環境 3. 情報、文化のカベの克服 芸術、スポーツ、レジャー 活動など参加できる対応 (手話、点字…) 4. 意識、心のカベの克服 共に生きる社会づくりへの 取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ○市民 ○家族 ○ボランティア ○企業 ○職業訓練所 ○各種障害者団体 ○社会福祉協議会 ○福祉施設 ○ボランティアセンター ○医療機関 ○警察・消防・監督署 ○行政 	<ul style="list-style-type: none"> ○ノーマライゼーションの意識を持って実践する ○障害の種類に応じた対策 ○サービス利用の仕組みを一元化 ○障害者が就労できる環境作りに取り組む ○障害を生じさせないための施策 ○市民全体が「障害者が住みよいまちづくり」に取り組むための努力目標を定める 	<ul style="list-style-type: none"> ○障害者が社会参加できる環境が整っている ○障害者が住み慣れた家庭、地域で自立して生活できる ○閉じこもらず、みんなで一緒にやる。できないではなく、共に協力し、何事にも挑戦する心を育む

1 (8) ふるさとの誇りを受け継ぐ文化・芸術

現状と課題	担い手・役割 (資金)	施策 (事業・活動)	目標
<ul style="list-style-type: none"> ○民俗芸能・行事の継承が必要である 	<ul style="list-style-type: none"> ○民俗芸能、行事継承団体 ○学校 	<ul style="list-style-type: none"> ○連携を深め、指導者・後継者の育成を図り、活動の場を広げる 	<ul style="list-style-type: none"> ○民俗行事が地域の人達によって継承される。活動が盛んになる
<ul style="list-style-type: none"> ○市民の文化芸術活動は順調に推移している 	<ul style="list-style-type: none"> ○NPO 芸文協 ○市民グループ 	<ul style="list-style-type: none"> ○さらに新市全体のバランスがとれた推進により 	<ul style="list-style-type: none"> ○文化活動が活発になる
<ul style="list-style-type: none"> ○重要な史跡の保護、研修が進んでいない 	<ul style="list-style-type: none"> ○市内の歴史研修団体 	<ul style="list-style-type: none"> ○市内重要史跡を含めた長期的、総合的計画を策定する ○全市民的な歴史の里づくりを推進する 	<ul style="list-style-type: none"> ○市民が歴史文化の生涯学習の場とする
<ul style="list-style-type: none"> ○檜山の「歴史の里」づくりが進んでいない 	<ul style="list-style-type: none"> ○歴史ガイドの会 ○檜山まちづくり協議会 ○行政(まちづくり課・教育委員会協働して) 	<ul style="list-style-type: none"> ○檜山の史跡の環境整備(案内所、トイレ) ○昼食提供と昼食を取る場所の増置 ○特産品販売 ○北限の茶畑の保存 	<ul style="list-style-type: none"> ○来訪者の研修の場、観光者の環境を整備する ○「檜山歴史の里」が活気づき観光が、研修が高まる
<ul style="list-style-type: none"> ○文化財消失・流出の進行がみられ、収蔵が急務である 	<ul style="list-style-type: none"> ○文化財保護協会 ○行政 	<ul style="list-style-type: none"> ○市内外への歴史PRパンフレットを作る ○「歴史民俗資料館」(収蔵庫)を設置する 	<ul style="list-style-type: none"> ○歴史民俗資料の活用ができる ○文化財の良好な保存ができる
<ul style="list-style-type: none"> ○「能代市史」編さんが遅れている ○市民の意見が反映されていない 	<ul style="list-style-type: none"> ○市民 ○市史編さん委員会 ○行政 	<ul style="list-style-type: none"> ○市民の意見を採り入れ、見直した組織・計画のもとに、再び推進する ○早い進捗を希望 ○市民の意見をとり入れる方策を考える 	<ul style="list-style-type: none"> ○能代市史ができています

1 (9) だれもが気軽に楽しめるスポーツ

現状と課題	担い手・役割 (資金)	施策 (事業・活動)	目標
<ul style="list-style-type: none"> ○一般市民のスポーツ振興と各スポーツ選手強化にバラツキがある 	<ul style="list-style-type: none"> ○体育協会 ○NPO ○事業者 ○市民 	<ul style="list-style-type: none"> ○市民の力を活用する組織を作る ○選手養成、強化の組織の見直し、活動を高める ○スポーツ指導者の勤務の環境を整えてもらう ○市民の力を活用する組織に参加する 	<ul style="list-style-type: none"> ○スポーツに親しむための指導者がおり、地域づくりができてきていること
<ul style="list-style-type: none"> ○施設の充実と利用拡大が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ○行政 ○市民団体 	<ul style="list-style-type: none"> ○コーディネーターの自主研修 ○全天候型の陸上競技場施設(できれば多目的に)を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○バランスのとれたスポーツが振興されている ○環境が整い競技力が向上すること
<ul style="list-style-type: none"> ○「バスケの街」の推進を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ○競技団体(体育協会、バスケットボール協会) ○学校 ○グッズ販売事業者 	<ul style="list-style-type: none"> ○従来の施策の見直し ○プロバスケットリーグへの加盟(湯沢の動き)を支援する。 ○グッズの販売 	<ul style="list-style-type: none"> ○名実ともに「バスケの街」となること

1 (10) 認め合い分かち合う社会づくり

現状と課題	担い手・役割(資金)	施策(事業・活動)	目標
○男女共同参画を策定している	○男女共同参画推進委員 ○市民	○男女共同参画計画を実践・評価する ○女性の起業を盛んにする	○男女共同参画に対する意識の深まりと実践行動のできる暮らしやすいまち
○外国人も隣人であるという意識が必要	○市民 ○ALT ○日本語指導者	○意識の高揚を図る ・交流の充実 ・日本語教室の支援と充実 ○帰国子女の就職後のフォロー ○帰国子女を積極的に採用する企業があること	○認め合い支え合う外国人でも住みやすい地域
○平和や人権意識を浸透させる手立てが必要	○人権擁護委員 ○保護司 ○民生委員等関係機関や団体 ○行政	○広く連携して情報交換を密にする ○広く、深く浸透していく手だてを考え合う ○他の非核平和宣言都市の事例を参考にして活動を検討する	○平和や人権意識が広く浸透している地域社会

2 (1) 環境を核とした活力ある産業創出

現状と課題	担い手・役割(資金)	施策(事業・活動)	目標
○市民ができる活動を中心として、地域資源の活用が必要(木くず、おがくず、伐採した松、ネギの皮、生ゴミ、もみがら、しらかみ酵母、ゼオライトなど)	○生産者 ○木材会社など ○農家 ○市民グループ ○研究機関 ○企業 ○コーディネーター	○新商品を開発する ○地元で使ってもらい ・しらかみ酵母製品 ・堆肥など ○ゴミの分別 ○消費 ○販売 ○分析 ○品質管理	○地域内外へ販売する ○地域の資源が活用される

2 (2) 雇用を生み出す企業立地

現状と課題	担い手・役割(資金)	施策(事業・活動)	目標
○就職割合の低下 ○事業所が減少している ○能代山本の求人倍率0.4台	○市 ○県 ○国 ○企業 ○商工会議所 ○ハローワーク	○補助金 ○求人情報の発信 ○地域外からの情報収集 ○企業からの情報収集 ○市民への情報発信	○新たな産業創出、企業(起業)立地を行う ○若い人を中心に雇用や、チャレンジの機会が増える ○求人倍率を全県平均まで上げる

2 (3) 力強く持続する農業

現状と課題	担い手・役割(資金)	施策(事業・活動)	目標
○ネギ、みょうが、ウド、アスパラガス、キャベツなどの主要な生産地であるが販路拡大ブランドの確立を目指す必要がある	○農家 ○直売所 ○JA ○行政(市)	○独自規格をつくり、生産者の責任を明確にする。 ○生産(安全でおいしい物) ○販売 ○市ブランド造り	○若者が好きになり、やる気になる農業を ○安心、安全のできる農業経営

2 (4) 山・川を生かす林業・木材産業・水産業

現状と課題	担い手・役割(資金)	施策(事業・活動)	目標
○まちなみに木が少ない ○林業、木材のまちの感じがない	○市 ○木高研 ○木の良さを伝えるプロ ○設計事務所 ○工務店(大工) ○市民	○まちづくり条例をつくる ○街並み景観条例をつくる ○補助金? ○木のぬくもりを伝えるため木製品を多くする ○外装など見えるところに木を使う(補助金が見えるように)	○木のまちとして、街なかの木ぬくもりが感じられる

2 (5) まちのにぎわいをつくり出す商業

現状と課題	担い手・役割 (資金)	施策 (事業・活動)	目標
<ul style="list-style-type: none"> ○気楽に入れて心豊かになれる喫茶店が欲しい ○大きいサイズの店が欲しい ○積極的に売り込みを <ul style="list-style-type: none"> ○買物調査が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ○商店主 ○業界団体 <ul style="list-style-type: none"> ○市民 <ul style="list-style-type: none"> ○J A ○農家 ○市民団体 ○行政 	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者にやさしい商店 ○接客態度の研究 ○開店、閉店時間の再考 ○専門店化 ○小口販売 ○各種団体で活気を生み出す取組を話し合う ○地元である物は、地元で求める、購入する ○街中に産直店 <ul style="list-style-type: none"> ○公安委員会に陳情 ○畠町通りに駐車帯 	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者が歩いていける商店がある ○市外に出なくとも買い物ができること ○安くても安心なもの買える ○商店街に人が集まる交流やにぎわい ○商店街と個店に特色があり、空店舗がなくなっていく ○共存共栄

2 (6) 豊かな自然とその恵みを活かす観光

現状と課題	担い手・役割 (資金)	施策 (事業・活動)	目標
<ul style="list-style-type: none"> ○白神山地、日本海、米代川、風の松原、きみまち阪、七座山、日本一の杉など豊かな自然資源がある ○二ツ井の自然、川、海トータルで考える必要がある 	<ul style="list-style-type: none"> ○観光協会 ○J R ○旅行社 	<ul style="list-style-type: none"> ○体験メニューの開発 	<ul style="list-style-type: none"> ○滞在者の増加 ○宿泊施設の充実
<ul style="list-style-type: none"> ○特色ある郷土料理と食彩人 ○駅前で食事ができない 	<ul style="list-style-type: none"> ○商店主 ○生産者 (食材) ○高校生 ○ボランティア ○市民 ○行政 	<ul style="list-style-type: none"> ○能代駅前へ、うどん、そば店 ○自分の街の史跡、名所などある程度紹介できるようになる ○広報などで史跡等の紹介、講演会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○食べてみたい食のイメージが高まる

2 (7) 自然と共生し地域で支える環境保全

現状と課題	担い手・役割 (資金)	施策 (事業・活動)	目標
<ul style="list-style-type: none"> ○地球温暖化 ○風の松原の環境保全・松くい虫の根本対策 ○風の松原は防除しているが、民間の庭木は徹底していないという意見あり ○松くい虫の被害箇所が増えていることが課題という意見あり ○犬のフンを持ち帰らない ○白神山地、二ツ森登山口トイレ清掃は、八峰町で行っている ○電柱が自転車の妨げになっている 	<ul style="list-style-type: none"> ○行政 ○市民 ○ボランティア (守られる人々の会170名) <ul style="list-style-type: none"> ○事業者 <ul style="list-style-type: none"> ○犬の飼い主 ○登山者 ○ボランティア 	<ul style="list-style-type: none"> ○自然エネルギーの理解を深め環境活動を進める ○松くい虫の防除体制を確立する ○協賛金を広く募る ○不法投棄の監視体制の整備 <ul style="list-style-type: none"> ○犬のフンの持ち帰り ○飼い主の会の設立 ○モラル向上の為の活動 ○二ツ森登山口トイレ清掃への協力 <ul style="list-style-type: none"> ○自転車が通りやすい道路の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ○環境問題に対し適正に対処し、良好な環境が保存されている ○松くい虫の根本的な対策が行われている ○市民1人1人が風の松原を誇りに思う環境を保つ

2 (8) 資源を大切に社会を持続させる衛生環境

現状と課題	担い手・役割 (資金)	施策 (事業・活動)	目標
<ul style="list-style-type: none"> ○ごみの減量化 	<ul style="list-style-type: none"> ○市民1人1人 ↓ ○励まし合う仲間づくり <ul style="list-style-type: none"> ○コンポスト見直し隊 ○食の環研究会 ○女性団体 (婦人会等) ○行政 	<ul style="list-style-type: none"> ○子ども達にも教育し、大人と一緒に実践する ○市民の意識向上 ○分別の徹底 ○マイバック運動を推進する ○団体で学習 	<ul style="list-style-type: none"> ○3年かけて燃えるごみを10%減 (1人1日540g) ↓ ○全世界帯数3万4022の10%、3400世帯を能代地区8ブロック、二ツ井地区6ブロックに分割し、地区ごとに取組

3 (1) 安全な暮らしを守る防災・防犯体制

現状と課題	担い手・役割 (資金)	施策 (事業・活動)	目標
①情報提供 ②情報共有 ③連携 (自治会と自治会・自治会と行政と専門機関)	「安全」というテーマを置いた時、最も大事なことは、 「近隣住民がお互いを知り、協力し合っている」 「他の自治会や町内会、行政をはじめとした専門機関との情報共有ができる」		
	○そもそも活動人口が減った (少子高齢化・生活環境の変化などが要因) ↓ ○活動人口を増やすため、一人でも多くの住民が1つでも多くの活動に参加したいと思わせ、参加してもらうことが重要になる ↓ ○具体的市民活動を増やす (①まち歩き②防災訓練③除排雪・清掃活動④都市計画づくりなどのWS⑤防災・防犯マップ作成) ↓ ○「常に市民がまちに目を向けている」「危険箇所などを知っている」「安心に暮らせる」 ↓ ○「情報交換できる場」が整っている (←行政などと市民が情報を共有し、市民による評価や検証できる場が整っている)		
○防災意識が低く活動参加人数が減少している	○行政 ○自治会・町内会 ○住民	○常に新しい情報をPRする ○緊急避難場所の指定・周知 ○まち歩き等で危険箇所をチェックする ○自治会活動に参加する	○防災や防犯の意識を持ち、犯罪やトラブルが無くなる
○他町内、専門機関との連携が不足している	○行政 ○住民 ○自治会・町内会 ○行政 ○医療機関	○避難訓練を行う ○安全教室の実施 ○自治会どうしの連携を図る ○応急手当を普及させる	
	○行政 ○事業者	○情報交換、共有の場を作る ○避難訓練を行う ○被災地域への物資等の支援 ○人的物的支援	
○水害対策が不足している	○行政 ○自治会・町内会 ○警察 ○ボランティア ○住民	○水害知識のPR ○周知方法の整備 ○防災無線 ○自治会・町内会の連携 ○行政と自治会の連携 ○警察をはじめ有志で見回しする	
○運転マナーが低下している ○高齢者の交通死亡事故が増加している	○ドライバー ○高齢者 ○警察	○安全教室に参加 ○安全教室の徹底 ○安全教室の企画 ○安全教室のPR	○高齢者の交通事故の減少
○児童生徒の通学時の安全確保が必要	○市民ボランティア ○学校 ○保護者 ○警察 ○行政	○声かけ運動の実施 ○見守り隊 ○警察との連携 ○カーブミラー等設置	

3 (2) 機能的で利用しやすい道路・交通ネットワーク

現状と課題	担い手・役割 (資金)	施策 (事業・活動)	目標
○高齢者宅への除雪の支援が不足している	○住民 ○自治会・町内会 ○ボランティア ○シルバー人材	○女性の参加 ○リーダーの育成 ○自治会と行政の連携 ○積極的な活動参加を呼びかける ○自治会のコミュニケーションの充実 ○除雪活動に参加	○生活道路等が1年中安全で安心して暮らせる
○除排雪機械の貸出は条件が細かい。認知不足	○行政	○サービスのPR	
○市内巡回バスの利用者が増加している	○市民 ○バス会社 ○行政	○市民、企業の出資 ○バス停広告の設置 ○巡回バスの路線拡大	○環境にやさしい交通機関が成り立つ
○路線バスの利用者が減少している	○住民 ○学校 ○行政	○陳情	

3 (3) 効果的で調和のとれた土地利用

現状と課題	担い手・役割(資金)	施策(事業・活動)	目標
○資源の豊かさが認識されていない	○住民	○市民学習会 ○イベント	○交流人口が増加する
	○農家	○産直施設	
	○民間	○土地、物件等の情報提供 ○観光 ○PR	
	○学校	○ふるさと学習	○定住人口が増加する
	○大学	○ネットワークづくり ○専門知識の提供	
	○行政	○土地利用計画の策定 ○ふるさと移住 ○住宅の建設	

3 (4) 快適で暮らしやすい都市形成

現状と課題	担い手・役割(資金)	施策(事業・活動)	目標
○耐用年数を越えた公営住宅が増加している	○住宅供給業者	○民間資金活用による市営住宅の建設、確保	○衛生的快適な、生活環境が確保される
	○行政	○住宅マスタープランの策定	
○携帯電話やインターネットが普及している	○民間	○講習会への積極的な参加	○携帯電話、インターネットの利用ができる
○テレビ難視聴地区の発生が懸念されている	○行政	○講習会 ○財政支援の検討 ○事業者への要望 ○回線の敷設 ○共聴アンテナの設置	
	○通信事業者		

3 (5) 安心でき健康を保てる医療体制

現状と課題	担い手・役割(資金)	施策(事業・活動)	目標
○身近なかかりつけ医をもつ市民が少ない	○かかりつけ医の相談(役割分担)を指導する機関 ○市民 ○医師会 ○薬剤師会 ○市行政	○かかりつけ医、かかりつけ薬局を推進する ○(市総合相談窓口)コールセンターの設置 ○市民に薬の重複による薬害の危険を啓発する	○医療費が抑制される
○ドクターショッピングを行う市民が多い			○市民の健康が維持できる ↓ ○身近にかかりつけ医がいて気軽に相談ができ、必要ときに必要なサービスや高度医療が受けられること

3 (6) 不安のない生活を支える社会保障制度

現状と課題	担い手・役割(資金)	施策(事業・活動)	目標
○要介護認定者が増加している。今後更に増加する	○市	○制度を支えられる人材の育成 ○介護サービス機関の整備 ○介護の適正な判定 ○適正な制度の運用 ○制度の啓発 ○身近な相談所のPR	○介護が必要になったときに必要なサービスや援助を受けられること
	○県		
	○国		
	○ケアマネージャー		
	○介護施設職員		
	○地域包括支援センター		
	○NPO		

3 (7) 効率的で住民サービスに資する行財政基盤

現状と課題	担い手・役割(資金)	施策(事業・活動)	目標
○財政運営が困難 ○職員定数の見直し	○市職員 ○市	○メンタルヘルスの対応 ○職員が意欲をもてる仕組み作り ○市職員の意識向上 ○バックアップシステムの構築 ○能代マネジメントシステムの導入 ○適正な人事評価を実施 ○改革の検証、評価	○職員が意欲をもって能力を発揮して ○個人情報がいちちゃんと管理された上で ○事務処理の効率化が図られ ○市民から信頼される市役所であること
○市が担う役割の見直しが必要	○市 ○自治会 ○NPO ○民間企業	○行政の担う役割の組織機構の見直し ○民間活力の活用	
○市税滞納の増加見込	○市 ○市職員 ○市民	○広域的な滞納整理の取組 ○未納者に対するペナルティ制度の確立 ○地域での市職員の情報網の活用 ○市職員の資質の向上 ○納税意識の向上	○受益と負担の公平さが確保され、税金や使用料収入などが確保されている
○自治体間の広域的連携が求められている ○国県市が役割分担に基づき協働して取り組む必要がある	○市町村 ○国 ○県 ○市	○国県との連携強化 ○県、他市町村との人材交流(派遣研修)	○国、県及び大学や民間企業と連携し、他地域と広域的に協力しながら、市民と共に地域の課題に取り組むこと
○大学は、市との共生を求めている	○大学	○大学への職員派遣	
○民間企業、研究機関との連携が求められている	○企業 ○研究機関	○能代市出身者の企業での研究者のつてを頼る	

3 めざす目標指標

基本目標						
政策						
目標指標	数値の方向性	現 状	5年後の目標	10年後の目標	その他	備考
1 輝きとぬくもりのまち						
(1) コミュニティで支え合う特色ある地域づくり						
①自治会・町内会やボランティア活動など市民活動に参加することを心がけている市民の割合（単位：％）	増	37.4	50.0	60.0	重要	意識調査
②ボランティアセンター登録者数（単位：人）	増	5,148	6,000	6,500		
③ボランティアセンター登録者数（地域別）	—	—	—	—		
④自治会・町内会活動の状況把握（事業等の増減等）	—	—	—	—		
⑤近所づきあいがよいと感じる市民の割合	—	—	—	—		
(2) 学び合い高め合って地域に活かす生涯学習						
①生涯学習関連講座の受講者数（単位：人）	増	94,636	民間の取り組みを促進し増加を図る。行政としては現状維持。			
②自主学習グループ数（単位：団体）	増	257	300	330		
③自主学習グループ会員数（単位：人）	増	4,249	4,500	4,600		
④青少年ホーム主催講座の参加者数（単位：人）	—	—	—	—		
⑤知識や特技を地区活動や行事で発揮することを心がけている人の割合（単位：％）	増	18.6	25.0	30.0		意識調査
⑥生涯学習指導者、ボランティア登録者数（単位：組）	増	27	40	50		
(3) 地域で育み社会で支える子育て・子ども支援						
①合計特殊出生率	設定難	1.50				
* 1自治体で目標とすべき数値ではないのでは						
②ファミリーサポートセンター会員登録数（単位：人）	増	0	増加に努める			
③ファミリーサポート事業利用件数（単位：件）	増	0	増加に努める			
④放課後子ども教室の参加者数（単位：人）	設定難	21,027	* 数値は増が望ましいが子どもの数が減少していくため			
⑤保育所入所率（単位：％）	設定難	30.5				
* 目標指標の項目として関連性が低い						
⑥幼稚園入園率（単位：％）	設定難	30.7				
* 目標指標の項目として関連性が低い						
⑦一時保育延べ利用者数（単位：人）	設定難	2,526				
* 目標指標の項目として関連性が低い						
⑧放課後子ども教室への1人あたりの参加回数（単位：回）	設定難	6.6				
* ④に関連						

基本目標						
政策						
目標指標	数値の方向性	現 状	5年後の目標	10年後の目標	その他	備考
⑨出生数（単位：人）	設定難	409				
	*①に同じ					
⑩子育てを地域で支えあう雰囲気があると思う人の割合（単位：％）	増	25.3	30.0	30.0		意識調査
⑪家庭児童相談の相談件数（単位：件）	設定難	131				
	*目標指標の項目として関連性が低い					
(4) 次代を担う子どもの成長を支える学校教育						
①耐用年数を超える学校数（単位：校）	減	5	0	0		
②耐震基準を満たす学校数（単位：校）	増	12	全校	全校		
③子どもが地区でのびのびと育っていると思う人の割合（単位：％）	増	47.6	50.0	55.0		意識調査
④社会教育の拠点として活用されているか	—	—	—	—		
⑤体験学習等が行われているか	—	—	—	—		
⑥知識や特技を持っている人が学校でどのくらい活動しているか	—	—	—	—		
⑦いじめ件数（単位：件）	設定難	9				
	*いじめを狭い範囲で捉え、目標として数値設定するのは好ましくないのでは					
(5) 子どもも大人も心と体の健康づくり						
①からだを健康だと思う人の割合（単位：％）	増	62.4	できる限り増やす		健康だと思う人が増えてほしい	意識調査
②健康教室の参加者数（単位：人）	増	4,012	できる限り増やす		開催回数と参加人数を増やす	
③健康づくりサークル会員数（単位：人）	増	574	できるだけ増やす			
④健康診断の受診者数（単位：人）	増	5,706	国の方針60～65％に近づける			
⑤ガン死亡率（人口10万人対）	減	392.9	$392.9 \times 0.8 \approx 314$ 人		ガン対策基本法の目標数値に近づける（10年間で20％減少）	
⑥自殺死亡率（人口10万人対）	減	67.4	$31.8 \times 0.8 \approx 25$ 人		自殺対策基本法の目標数値に近づける（H28までにH17の数値の20％以上減）	
⑦自殺の原因統計	—	—	—	—	大学などの研究機関と連携して原因調査を進める	
⑧心を健康だと思う人の割合（単位：％）	増	61.4	できるだけ増やす			意識調査
⑨周産期死亡率（出生千対）	減	7.6	全国レベルを目標に			
⑩乳幼児死亡率（出生千対）	減	0.0	全国レベルを目標に			